

令和4年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立障害者就労支援施設 (ジョブ・サポート・プラザ ちよだ)	所在地	千代田区九段南1-2-1
-----	--------------------------------------	-----	--------------

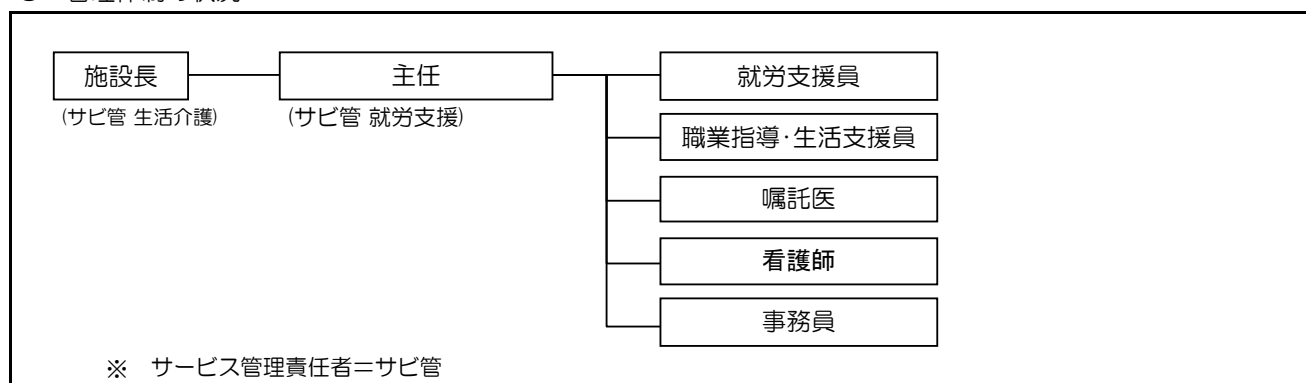
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 武蔵野会	代表者	理事長 高橋 信夫
所在地	東京都八王子市旭町12-4日本生命八王子ビル2F		
指定期間	令和4年4月1日～令和13年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	障害者に対し生産活動その他の活動の機会を提供することで障害者の自立を促進し、もって障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。
管理業務の内容	(1) 障害者総合支援法第5条第13項に規定する就労移行支援に関する事業 (2) 同法第5条第14項に規定する就労継続支援に関する事業 (3) 同法第5条第7項に規定する生活介護に関する事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用者数(各年度末現在)

提供サービスの種類	就労移行支援	就労継続支援(B型)	生活介護
令和4年度	0人	20人	10人
令和3年度	0人	18人	10人
令和2年度	0人	16人	10人

イ 行事・余暇支援

- ・所外活動：個別外出1回（新型コロナウイルスの影響により宿泊中止）
- ・暑気払い 仕事納め他 施設内レク月1回（施設内にて密にならないよう実施）

ウ 地域イベント等への参加

- ・千代田区文化芸術 秋のフェスティバルに出品
- ・千代田区理解促進事業
- ・ふれあい祭り

5-1 収支の状況

収 入		支 出	
自立支援給付費収入	55,450,555円	人件費	73,377,922円
利用者負担金収入	195,211円	事務費・事業費支出	15,480,969円
受託事業収入	36,241,000円	固定資産取得支出・リース返済支出	2,921,771円
その他の収入	448,994円	積立資産支出（退職共済）	446,862円
合計（①）	92,335,760円	合計（②）	92,227,524円
収支差額（①－②）	108,236円		

5-2 収支の状況

収 入		支 出	
就労支援事業収入	9,744,294円	就労支援事業支出	9,744,294円
収支差額	0円		
工賃変動積立金取崩額	0円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>法人の基本理念である「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に則り、利用者の安心・安全・満足なサービスの提供に努めた。特に新型コロナウイルスの対応として前年度に引き続き感染防護に努めるとともに除菌対策や職員の抗原検査体制等を強化した。新型コロナウイルス陽性者が散発したものの施設内感染・流行を予防することができた。</p> <p>感染対策を実施する一方で、「働く”を通じて人とひと、人と社会をつなげ”絆社会”を築く」というミッションを掲げ、コロナ禍の中でも積極的に地域に出ていく姿勢で運営を行った。当該活動はスタートしたばかりであるが、地域イベント等への参加や法人所有のキッチンカーなど新しい試みとして行った。年度後半は、新型コロナウイルスの流行が下火になったこともあり、地域のパン販売や配達等の機会も徐々に増加した。また、千代田区障害者福祉センターの館内清掃や畑作業などの所外活動も新規で開始し、作業の幅を広げた。</p> <p>本年度は前指定管理者からの運営の移行にあたって、利用者には不安や混乱がないよう、利用者が新しい職員や環境に馴染んでもらうことを第一にゆっくりとしたペースで、新しい内容を盛り込んでいき、運営の新体制の基盤作りに努めた。保護者会ともできるだけ意思疎通をとりながら協働する体制作りに努めた。</p>	<p>自立支援給付費収入は生活介護、就労継続支援事業の給付費収入で、受託事業収入は千代田区からの指定管理料となっている。その他の収入は実習生受け入れ謝礼や、法人からの役員手当繰り入れを計上している。</p> <p>当法人では指定管理受託が1年目であるため就労支援・障害福祉サービスの収支とも昨年度対比はできないが、休所期間は8月15日の1日のみとし他のお盆期間は通常に運営したため、利用率は生活介護91.6%、就労継続支援70%となり当初見込んでいた収入を上回った。</p> <p>障害福祉サービスの収入は、新型コロナウイルス感染症が数名発生したものの施設を休所するようなクラスターを起こすことはなかったため、毎月の収入は大きな変動なく安定した。支出については通常の費用以外に、さくらペーカリーの経年劣化した什器類の入れ替え、就労で新規の作業を開始したことにより必要になった自転車、殺菌装置の購入と、AEDやパソコンなどの固定資産取得の購入（リース購入含む）が発生した。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>令和4年度より指定管理者が変わり、新型コロナウイルス感染症が流行する中での運営開始であったが、千代田区障害者福祉センターの館内清掃や富士見出張所の植栽剪定作業などの所外活動も新規で開始し、作業の幅を広げることでより利用者へ寄り添った支援を提供し、積極的に地域に出ていく姿勢は評価できる。</p> <p>また、運営者が変わることによる、利用者の混乱も懸念されていたが、令和3年度より引継ぎ業務を丁寧に行うことで利用者が安心して通うことができる施設となっていた。</p>
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>次年度は指定管理開始から一年が経過するため、施設の環境等にも少しずつ変化を加えていき、利用者にとってよりよい環境をつくり、地域とのつながりを深めるような取り組みを積極的に進めていただきたい。</p> <p>また、今後も利用者の重度化・高齢化が進んでいくことが見込まれるため、作業種の増加を含む活動の幅を広げるなど、個々の特性に沿った支援が提供されることで、より利用者には幅広い選択肢を提供することができる施設となることを期待したい。</p>
